

就労継続支援A型事業所におけるスコア表（全体）

事業所名	キャメル
住 所	鳥取県鳥取市扇町57番地1 サウスシティ6号室
電話番号	0857-21-8001

事業所番号	3110102187
管理者名	田邊 真美恵
対象年度	令和6年度

（Ⅰ）労働時間

①1日の平均労働時間が7時間以上		40
②1日の平均労働時間が6時間以上7時間未満		
③1日の平均労働時間が5時間以上6時間未満		
④1日の平均労働時間が4時間30分以上5時間未満		
⑤1日の平均労働時間が4時間以上4時間30分未満	○	
⑥1日の平均労働時間が3時間以上4時間未満		
⑦1日の平均労働時間が2時間以上3時間未満		
⑧1日の平均労働時間が2時間未満		
①90点 ②80点 ③65点 ④55点 ⑤40点 ⑥30点 ⑦20点 ⑧5点		点

（Ⅱ）生産活動

①過去3年の生産活動収支がそれぞれ当該各年度に利用者に支払う賞金の総額以上		50
②過去3年の生産活動収支のうち前年度及び前々年度の各年度における生産活動収支がそれぞれ当該各年度に利用者に支払う賞金の総額以上	○	
③過去3年の生産活動収支のうち前年度における生産活動収支のみが前年度に利用者に支払う賞金の総額以上		
④過去3年の生産活動収支のうち前々年度における生産活動収支のみが前々年度に利用者に支払う賞金の総額以上		
⑤過去3年の生産活動収支のうち前年度及び前々年度の各年度における生産活動収支がいずれも当該各年度に利用者に支払う賞金の総額未満		
⑥過去3年の生産活動収支がいずれも当該各年度に利用者に支払う賞金の総額未満		
①60点 ②50点 ③40点 ④20点 ⑤-10点 ⑥-20点		点

（Ⅲ）多様な働き方（※）

①免許・資格取得、検定の受検勧奨に関する制度		15
就業規則等で定めている	○	
②利用者を職員として登用する制度		
就業規則等で定めている	○	
③在宅勤務に係る労働条件及び服務規律		
就業規則等で定めている	○	
④フレックスタイム制に係る労働条件		
就業規則等で定めている		
⑤短時間勤務に係る労働条件		15
就業規則等で定めている	○	
⑥時差出勤制度に係る労働条件		
就業規則等で定めている	○	
⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度		15
就業規則等で定めている	○	
⑧傷病休暇等の取得に関する事項		15
就業規則等で定めている	○	
小計（注1）	7	点

（※）8項目の合計点に応じた点数（注1）5以上：15点、4～3：5点、2点以下：0点

（Ⅳ）支援力向上（※）

①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会		15
参加した職員が1人以上参加している	○	
②研修、学会等又は学会誌等において発表		
1回以上の場合	○	
③視察・実習の実施又は受け入れ		
いずれか一方のみの取組を行っている	○	
④販路拡大の商談会等への参加		
1回以上の場合	○	
⑤職員の人事評価制度		15
人事評価結果に基づき定期的に昇給を判定する制度を設け、全ての職員に周知している	○	
⑥ピアサポーターの配置		
ピアサポーターを職員として配置している		
⑦第三者評価		15
過去3年以内の福祉サービス第三者評価を受審しており、結果を公表している		
⑧国際標準化規格が定めた規格等の認証等		15
都道府県知事が適当と認める国際標準化規格が定めた規格その他これに準ずるものの認証を受けている		
小計（注2）	5	点

（※）8項目の合計点に応じた点数（注2）5以上：15点、4～3：5点、2点以下：0点

（Ⅴ）地域連携活動

地域の事業者と連携した付加価値の高い商品開発、企業や官公庁等での生産活動等地域社会と連携した活動を行い、その結果をインターネット等により公表している	○	10
1事例以上ある場合：10点		

（Ⅵ）経営改善計画

経営改善計画の提出を求められていない。または、経営改善計画の提出を求められているが、指定された期日までに提出している。	○	0
期限内に提出していない場合：-50点		

（Ⅶ）利用者の知識・能力向上

前年度において、就労継続支援A型事業所等が利用者の知識及び能力の向上に向けた支援を行い、当該支援の具体的な内容を記載した報告書を作成し、インターネットの利用その他の方法により公表している。	○	10
1事例以上ある場合：10点		

項目	点数	5点	20点	30点	40点	55点	65点	80点	90点
労働時間		5点	20点	30点	40点	55点	65点	80点	90点
生産活動		-20点	-10点	20点	40点	50点	60点		
多様な働き方		0点	5点	15点					
支援力向上		0点	5点	15点					
地域連携活動		0点	10点						
経営改善計画		0点	-50点						
利用者の知識・能力向上		0点	10点						

合計	140	点	／200点
----	-----	---	-------

就労継続支援A型事業所におけるスコア表（実績Ⅰ～Ⅳ、Ⅵ）

(Ⅰ) 労働時間

前年度（令和6年度）

雇用契約を締結していた全ての利用者における延べ労働時間	3,395.15	時間	雇用契約を締結していた延べ利用者数	812	人	利用者の1日の平均労働時間数	4.18	時間
-----------------------------	----------	----	-------------------	-----	---	----------------	------	----

(Ⅱ) 生産活動

会計期間（4月～3月）

前々々年度（令和4年度）

生産活動収入から経費を除いた額	-	円	利用者に支払った賃金総額	-	円	収支	-	円
-----------------	---	---	--------------	---	---	----	---	---

前々年度（令和5年度）

生産活動収入から経費を除いた額	2,733,454	円	利用者に支払った賃金総額	2,725,144	円	収支	8,310	円
-----------------	-----------	---	--------------	-----------	---	----	-------	---

前年度（令和6年度）

生産活動収入から経費を除いた額	3,439,871	円	利用者に支払った賃金総額	3,239,782	円	収支	200,089	円
-----------------	-----------	---	--------------	-----------	---	----	---------	---

(Ⅲ) 多様な働き方

前年度（令和6年度）における取組（全体表「(Ⅲ) 多様な働き方」の各項目において「就業規則等で定めている」と選択した場合に記載）

①免許・資格取得、検定の受検奨励に関する制度

◎免許・資格取得、検定の受検奨励に関する制度を定めている	☒
------------------------------	-------------------------------------

②利用者を職員として登用する制度

◎利用者を職員として登用する制度を定めている	☒
------------------------	-------------------------------------

③在宅勤務に係る労働条件及び服務規律

在宅勤務に係る労働条件及び服務規律に関する制度を定めている	☒
-------------------------------	-------------------------------------

④フレックスタイム制に係る労働条件

◎フレックスタイム制に係る労働条件を定めている	☐
-------------------------	--------------------------

⑤短時間勤務に係る労働条件

◎短時間勤務に係る労働条件を定めている	☒
---------------------	-------------------------------------

⑥時差出勤制度に係る労働条件

◎時差出勤制度に係る労働条件を定めている	☒
----------------------	-------------------------------------

⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度

◎有給休暇の時間単位取得または、計画的付与制度を定めている	☒
-------------------------------	-------------------------------------

⑧傷病休暇等の取得に関する事項

◎傷病休暇等の取得に関する事項を定めている	☒
-----------------------	-------------------------------------

(Ⅳ) 支援力向上

前年度（令和6年度）における取組（全体表「(Ⅳ) 支援力向上」の各項目に取組あり選択とした場合に記載）

①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会

◎研修計画を策定している	☒
◎外部研修、もしくは内部研修を1回以上実施している	☒
※研修名 「障がい者支援の基礎“支援者の虐待を防ぐ”」	
研修講師 山内 晋也（社会福祉法人武蔵野会リハビリテーションセンター 施設長）	
実施日・受講者数 4月22日～4人	

②研修、学会等又は学会誌等において発表

◎研修、学会等又は学会誌等において1回以上発表している	☒
※研修、学会等名 実践報告会	
実施日 10月18日	
※学会誌等名	
掲載日 月 日	
発表テーマ 他業種とのかわりについて	

③視察・実習の実施又は受け入れ

◎先進的事業者の視察・実習の実施している	☒
もしくは、他の事業所の視察・実習を受け入れている	☒
※先進的事業者名	
実施日/参加者数 月 日 人	
※他の事業所名 就労移行支援事業所 Fine鳥取ワイルド	
実施日/参加者数 7月9日 1人	

④販路拡大の商談会等への参加

◎販路拡大の商談会や展示会等へ1回以上参加している	☒
※商談会等名 TurningPoint ビジネス交流会	
主催者名 TurningPoint ビジネス交流会事務局	
日時 月 日	
内容 販路拡大のための名刺交換会、交流会	

⑤職員の人事評価制度

◎職員の人事評価制度を整備している	☒
◎当該人事評価制度を周知している	☒
人事評価制度の制定日 令和3年3月1日	
人事評価制度の対象職員数 4名	
うち昇給・昇格を行った者 名	
当該人事評価制度の周知方法	
人事評価実施の案内を全事業所に掲示。同案内を全社メールにて通知。	

⑥ピアサポーターの配置

◎ピアサポーターを配置している	☐
◎当該ピアサポーターは「障害者ピアサポーター研修」を受講している	☐
※配置期間 月 日～月 日	
就業時間	
職務内容	

⑦第三者評価

◎前年度末日から過去3年以内に福祉サービス第三者評価を受けている	☐
※評価を受けた日 月 日	
第三者評価機関	

⑧国際標準化規格が定めた規格等の認証等

◎ISOが制定したマネジメント規格等の認証を受けている	☐
※認証を受けた日 月 日	
規格等の内容	

(Ⅵ) 経営改善計画

◎指定権者である都道府県（指定都市・中核市）へ、経営改善計画書へ提出した。

※受理日 年 月 日

※経営改善計画の提出を求められていない。

各項目について適宜、実績がわかる情報を追加すること。

就労継続支援A型事業所における地域連携活動実施状況報告書

事業所名	キャメル
住所	鳥取県鳥取市扇町57番地1 サウスシティー6号室
電話番号	0857-21-8001

事業所番号	3110102187
管理者名	田邊 真美恵
対象年度	令和6年度

地域連携活動の概要

〈活動内容〉

活動場所： ㈱西日本ホテル&ビルマネジメント(グリーンリッチホテル)

実施日程： 2024年4月1日～現在に至る

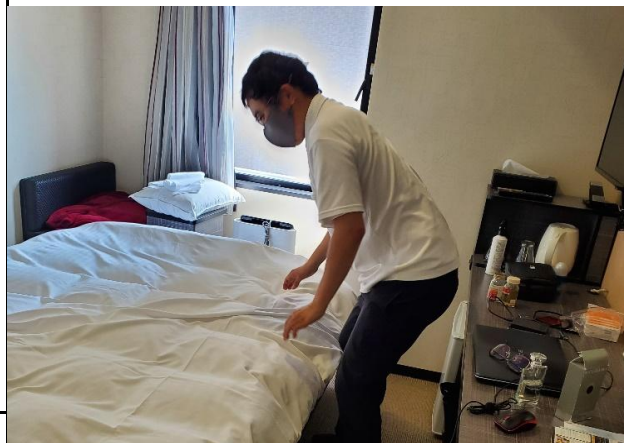
実施した生産活動・施設外就労の概要：

週5日間

9：30～14：00 ホテルの客室清掃

2名

〈活動の様子〉



〈目的〉

連携先企業様への人手不足解消・障害者雇用へ向けての情報提供

作業提供を通じて、地域の障がい者の方への雇用の確保

一般就労を見据えての作業への取り組み方の習得

〈成果〉

就労場所変更に伴い、現場の状況に慣れていく必要があり当初、企業様よりの目標設定されていた作業量にはなかなか到達できなかった。

個人差もあり緩やかではあるが、徐々に目標の作業量に近づいてきている。当初は分業でやっていた作業も個人で完結できるまでの技術力はついてきている。

作業量については徐々に時間を気にしながら作業を心掛ける意識づけは出来てきている。全体的には努力が必要な部分である。同時に時間を気にするとクオリティー低下にもつながりかねないので意識をもって取り組む必要がある。

連携先の企業等の意見または評価			
目標的には達成されていると思います。じっくり見ていたわけではないですが、一人一人の作業能力は確実に上がっているように見受けられます。手前のメイクスタッフでも「1フロア2人」と言えどもヘルプに入って作業することが多くあります。なので利用者さんの作業は上出来だと思います。 欲を言えば、早く人数をそろえていただき、以前のように1フロアを担っていただけると喜びます。			
連携先企業名	(株)西日本ホテル&ビルマネジメント(グリーンリッチホテル)	担当者名	成瀬 様

就労継続支援 A 型事業所における利用者の知識・能力向上に係る実施状況報告書

事業所名	キャメル
住所	鳥取県鳥取市扇町57番地1 サウスシティー6号室
電話番号	0857-21-8001

事業所番号	3110102187
管理者名	田邊 真美恵
対象年度	令和7年度

利用者の知識・能力向上に係る実施概要

〈活動内容〉

活動場所： キャメル 事業所

実施日程： 8月21日（木）22日（金）

実施した取り組みの概要：

指摘事項に関して再度、確認しながら利用者へ説明。

テキスト引用・事例をあげながら意識づけしていく事項を共有していく。

2名

〈目的〉

企業様より、作業前後や作業中に「こちらから声をかけないと挨拶等をしてもらえない」「特性もあるのかもしれないが声も小さく聞き取れない」との指摘があり再度、礼儀・マナーについて再確認を行う。

〈成果〉

今回の指摘事項を共有することで社会人としての基本的なルールを身に着けるための意識づけをしていく。

少しずつではあるが、自主的・積極的に挨拶をする姿が見られるようになった。当初より声も出せるようになってきているように見受けられる。

「意識づけ」を定着していないと、元のように聞こえない・できていない状況に戻ってしまう。

〈活動の様子〉



連携先の企業や事業所等の意見または評価			
それぞれの特性であったり性格であったり理由はあると思うので、仕方ないかと思っていた。 恥ずかしそうではあるけど、少しずつでも大きな声が聞けるようになってきたので、これからも継続して行ってほしい。			
連携先企業名	西日本ホテル&ビルマネジメント（グリーンリッチホテル）	担当者名	成瀬様
利用者からの意見・評価			
・今までも挨拶はしているつもりだったけど、聞こえてなかったり、自分からではなかった。 ・社会人としてのルールを守れるように意識して、自分から挨拶ができるようにしていきたい。			